

## 特定非営利活動法人むさしのフットボールクラブ 設 立 趣 旨 書

93年のJリーグ開幕や日本代表チームの活躍もあり、サッカーの競技人口が増加していくとともに、Jリーグの「百年構想」や文部科学省の「スポーツ振興基本計画」をうけ日本各地に総合型地域スポーツクラブが設立されています。それにより、地域に根ざしたスポーツクラブなどによって市民参加の交流の場を提供することで市民の健康保持増進や地域の活性化に貢献することができています。

ただし、多数の人々が日常的にスポーツを楽しむためには十分な運営体制だけでなく施設の確保が必要となります。スポーツ施設に関しては、武蔵野市周辺の現状では必ずしも十分とはいえません。市民が日常的にスポーツを楽しむためには自治体や企業が所有する施設で有効活用されていない施設を効果的に活用する必要があると考えています。

任意団体として『むさしのフットボールクラブ』は1986年9月に発足し、武蔵野市とその周辺の小学生を対象に「自由に、楽しく、のびのびと」をモットーにして『むさしのサッカースクール』の活動を開始しました。翌年以降、87年ジュニアユース、88年トップチーム若杉、90年ユース・ウィングス(30歳以上)・ヴィオラ(18歳以上)、91年ソレイユ(女子チーム)、97年ステラ(ママさんチーム)が結成され、男女ともに年齢を問わずに活動できる地域密着型のクラブチームとしての活動を続けています。

今後は、これらの活動をさらに発展させ、一人でも多くの市民にスポーツを楽しむ機会を提供するために行政や企業と共同して有効活用されていない施設を効果的に活用できるための事業を行っていく必要があります。スポーツをする機会を提供することにより市民の健康保持増進だけでなく大会や交流会の開催によって地域活性化にも貢献できると考えています。

そのためには今までのような任意団体としての少人数での運営には限界があります。私たちの目的であるスポーツを通じての市民の健康保持増進、地域活性化への貢献のためには行政との協働と市民や企業の支援、信頼が欠かせません。私たちの理想を現実のものとするためには法人格の取得は必要不可欠であると考え、この法人を設立いたします。

平成16年9月22日

代表者 住所又は居所

氏名 和久井 修 印